

横芝町の人口と世帯

〈12月1日現在〉

人口 14,355 (+13)

男 7,038 (+12)

女 7,317 (+1)

世帯数 3,784 (+10)

()内は前月比



広報

横芝

1月号

発行所

千葉県山武郡横芝町横芝636番地

横芝町役場

電話 04798-2-1111(代)

郵便番号 289-17



梅をたたえる

斉藤つね子

新年にどしの陽に咲きそめる梅の花

目に滲みるまで白のすがしも

凜々と白き梅咲き春至る

青き空よりしめる土より

厳寒に咲きくるいのちいとおしみ

梅を町花と定めしわが町



厳しい現実の

克服を期して

横芝町長 佐瀬哲司

このような背景のうちに迎えた昭和五十八年は、極めて重要なものになると予想されます。さて、わが横芝町も合併以来歴

輝かしい新春を迎え、謹んでみなさまのご健勝をお喜び申し上げます。

昨年、国の内外ともに多事多難の年でありました。特に世界的に不況の嵐が吹き荒れて、深刻な経済不況となり政府の積極的な対策にもかかわらず、その

あひまごころをめぐりまわす

この間は、豊かな田園都市としての健全な町の発展を願いつつ、住民サイドに立っての町政を積極的に進めてまいりました。その結果、町議会をはじめ町民のみならず、

この五か年計画の概要につきましては、町勢要覧によりお知らせいたしますが、その中から主な事業を二、三申し上げますと、騒音特別法による都市計画区域編入を待つての坂田池周辺への本格的な大公園計画をはじめ、町民広場に

住んでよかったといわれるような町に移り住んでみたい横芝が離れがたい横芝がこんな魅力ある町こそ町長としての私の追い求めている理想郷であります。みなさまの深いご理解とご協力を心より切望いたします。

さて、いよいよ本年は四年に一度の統一地方選挙の年であります。

加えて異常気象による冷害、あるいは台風被害等、町の基幹産業である農家の経済に与えた影響もまた甚大なものであります。

まのお力添えのおかげで、学校や保育所の防音改築をはじめ、町民野球場・テニスコート等、健康づくりのための体育施設の整備、道路や生活雑排水処理施設など生活環境の整備、コミュニケーションの場としての集会所の建設等、

二か年継続で、三百五十人も収容できる大集会室や、各種予防接種や成人病検診などに利用できる施設等をもりこんだ大型集会所施設を建設いたします。さらに、坂田池を起点として桜前に至る延長四・三キロの大型産業開発道路の建設工事もすでに四十％の用地買収を完了し、昭和六十一年の完成を目

四月に入りますと、県議会議員、町議会議員の選挙にはじまり、六月の町長選挙、参議院議員選挙と、一連の選挙が次々と実施されます。

また国政の方では、増税なき財政再建をキヤッチフレーズにした鈴木内閣が退陣のやむなきにいたり、代わって行政改革を旗印にした中曽根内閣が誕生したものの、

その前途は必ずしも平坦な道ではなく、樂觀を許しません。

また新住民の多い地区には、新旧住民の交流の場としての集会所の建設、生活雑排水の処理対策等、健全な町づくりをめざして数

正しい選挙を通して、真に役立つ人、有能な人、誠実・清潔な人を選び出すことこそ国づくり、町づくりの基本となるものと私は確信いたします。

しかしながら今後に残された課題も多く、町づくりの究極の目的である明るく住みよい横芝町の実現をめざして、町は二十一世紀という新しい時代を迎えるにふさわしい活力のある調和のとれた近代的な町づくりを進めるため、昨年第二次五か年計画を策定いたしました

したが、引き続きみなさまのご協力を得ながら着々と実行に移していく考えであります。

執行にあたってまいります。住んでよかったといわれるような町に移り住んでみたい横芝が離れがたい横芝がこんな魅力ある町こそ町長としての私の追い求めている理想郷であります。

そのためには、立候補者の良識

町と議会の動き 12月

町長

- 1日 全国町村長大会(二日まで) 東京
- 2日 産業建設常任委員会
- 3日 総務常任委員会
- 3日 民生文教常任委員会
- 4日 成田用水総代会
- 5日 町内一日清掃
- 5日 総武中央ライオンズクラブ
- 6日 総会
- 6日 大総保育所保護者陳情来庁
- 9日 定例町議会
- 9日 消防団幹部規律訓練
- 12日 大綱町長選挙事務所開き
- 13日 農業振興会青年部視察
- 13日 森代議士を励ます会東京
- 14日 定例町議会
- 14日 建設省陳情(河川問題) 東京
- 15日 定例町議会
- 16日 交通安全関係者歓送迎会
- 17日 谷台集会所落成式
- 17日 交通安全協会支部協議会
- 18日 商工推進対策協議会
- 18日 県庁九十九里会 千葉市
- 20日 東陽病院組合議会 光町
- 21日 朝比奈県議を励ます会
- 23日 農政審議会
- 25日 国保運営協議会
- 25日 工業団地促進対策委員会

は無論のことですが、選挙権を行使する有権者一人ひとりが選挙のあり方を根本から考え直し、自身の確かな判断と確固たる信念で、政治や地域社会を十二分にまかせ切れる人、住民サイドに立つて真剣に働いてくれる立派な人材を選び出していただかなければなりません。

みなさまの強い自覚と勇気ある実行を、心より期待いたします。私も町長として、自己に与えられた奉仕者としての職責を全力をあげて一生懸命に頑張ります。

今後とも、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



新春を寿ぎ謹んでご祝福申し上げます。朝日の昇りゆくが如き希望を胸に歓喜に燃えつつ、明朗な新春を迎えられたことと思います。昨年は異状気象、景気の低迷、

議会人としての使命に燃えて

町議会議長 布施岩雄

新春を寿ぎ謹んでご祝福申し上げます。朝日の昇りゆくが如き希望を胸に歓喜に燃えつつ、明朗な新春を迎えられたことと思います。昨年は異状気象、景気の低迷、貿易摩擦、行革問題、年末に至っては内閣総辞職等、内政、外交ともにも多難な年を送りました。新しい五十八年を迎え、国・地方議会ともに政治姿勢を正し、懸命の努力が要請されております。地方自治体もあらゆる角度から財政的には益々深刻の度を加えられる中で、地方行政の進展にいかんして明朗さを獲得するかが、私達議会人としての責務であり、使命であります。そうした自覚に立つてより慎重な議会の運営をはか

り、地方自治の振興と町民福祉向上のため専心努力いたし、みなさまの負託にこたえる所存でございます。さて本年は、地方統一選に始まり各種選挙の年であります。私達議員もみなさまの厳正なる審判をおおき、責任と使命感に燃え、議会活動、議員活動を通して、一層の明るい町づくりに進展の歩みを躍進させべく、初春とともに決意を新たにいたしております。みなさまの旧に倍するご指導ご鞭撻を願いたします。新年にあたり、みなさまの益々のご健勝とご多幸をお祈りして迎春のごあいさつといたします。

十二月定例町議会

ポスター公営揭示場 設置条例を制定

十二月の定例町議会は、九日から十五日までを会期として開催され、町長から提出された六議案と議員提出の一般議案が上程され、いずれも原案どおり可決、承認されました。また、これに先だち一般質問も行われ、健全な町づくりをめぐる、終始、熱のこもった討論が交わされました。提出された議案と内容は次のとおりです。なお、一般質問の内容は二月号で掲載いたします。

議案の内容

▼議案第一号 横芝町ポスター揭示場設置条例の制定について

公職選挙法に基づき、町長及び町議会議員選挙における選挙運動用ポスター揭示場の設置について条例を制定しようとするもの

▼議案第二号 横芝町固定資産評価審査委員会委員の選任について
十二月二十三日付をもって任期満了となる、横芝町固定資産評価審査委員会委員実川一氏を、引き続き委員として選任するもの

▼議案第三号 昭和五十七年度横芝町一般会計補正予算議定について
本年度第四回目の補正予算で、歳入歳出の総額に五千四百八十九万六千円を追加し、総額二十三億五千五百一十一万五千円とするもので、町税・地方交付税・国県支出金等を主な財源として、不燃物投棄場用地購入費・坂田遠山線道路用地購入費・その他各費目の追加更正を行うもの

▼議案第四号 昭和五十七年度横芝町国民健康保険特別会計補正予算議定について

本年度第一回目の補正予算で、歳入歳出予算の総額に七百六十一万一千円を追加し、総額六億四千三百七十八万六千円とするもので、国庫支出金を財源として、不足の見込まれる高額療養費の補正を行うもの

▼認定第一号 昭和五十六年度横芝町一般会計決算認定について
▼認定第二号 昭和五十六年度横芝町国民健康保険特別会計決算認定について
一般会計、国民健康保険特別会計決算の認定を求めるもの（詳細六～七頁）

ポスター揭示はどう変わる？

今まで町長や町議会議員選挙時の選挙運動用ポスターは法で禁じられた特定の場所を除き、自由に掲示できましたが、今後は衆議院議員や知事選挙のように、選挙管理委員会が設置した揭示場に限定されます。

議会

28日 御用納め

2日 産業建設常任委員会
3日 民生文教常任委員会
総務常任委員会

5日 町内一日清掃
6日 議会運営委員会
9日 定例町議会

14日 定例町議会
15日 定例町議会

17日 谷台集会所落成式
20日 東陽病院組合議会
25日 工業団地促進対策委員会

本年度第一回目の補正予算で、歳入歳出予算の総額に七百六十一万一千円を追加し、総額六億四千三百七十八万六千円とするもので、国庫支出金を財源として、不足の見込まれる高額療養費の補正を行うもの

▼認定第一号 昭和五十六年度横芝町一般会計決算認定について
▼認定第二号 昭和五十六年度横芝町国民健康保険特別会計決算認定について
一般会計、国民健康保険特別会計決算の認定を求めるもの（詳細六～七頁）
▼発議第一号 スパイ防止法制定促進に関する意見書
国防上欠かすことのできない機密を保護するため、「スパイ防止法」の早期実現を求めるもの

東欧行政視察記

佐瀬 哲司
横芝町長

英才教育で育つ人材

東ドイツ民主共和国は、面積が日本の約三十%、人口一千七百万人で、共産圏の国ではソ連について第二位の鉱工業生産高をほこり、農業も盛んでとりわけ畜産が盛んである。

人口増加を図るため、結婚すると国が優先的に住宅への入居を認めたり、子供が二人生まれると一年間育児休暇を与え、給料の六十%を支給するなど、奨励をしているが、二十、二十一といった若すぎる結婚年齢や団地住まいによる生活競争のため離婚する者も多く、離婚率は、アメリカ、ソ連について高いとのことである。

伝統文化を

残す町並

首都東ベルリンは、広々とした近代的なただすまいの中にも歴史の重さを感じさせる都市である。菩提樹の並木が緑の枝を広げる美しい通りは、マルクス、エンゲルス広場から始まり、今日のベルリンの象徴ともいえるものである。戦前から有名なこの大通りは、戦災を被った歴史的な建物を昔の

ままに次々と復興する一方、新しい都市計画に基づく近代的な建物も建てられており、伝統文化を大切にしながら発展していくこの国の姿をみる事ができる。

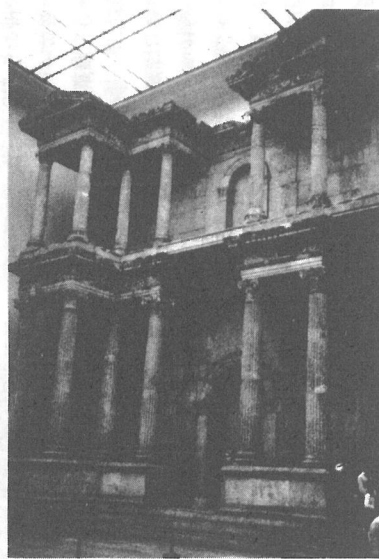
人口は百二十万人で、古代から学問と美術、音楽、演劇等の芸術文化の中心地で、ドイツの分裂後に東西ドイツに分かれた。

十年の義務教育

最初に市内の高層住宅団地にある中学校を視察した。日曜日のため生徒はいなかったが、役人と校長の二人で説明してくれた。二階建ての小さな校舎で、運動場も狭かった。

この国の義務教育は日本の制度より一年多い十年で、幼稚園から大学まで教育費用は一切無料である。また、戦前の教員はナチス党員であったとのこと、全員罷免したそうである。

この中学校は、一クラス二十二人編成で十六クラスあり、成績は一〜五に分類され、五は落第させるとのことであった。



↑ 建物の一部と見まがえるほど大きなペルモガモン博物館の展示品

ソ連語は義務教育となっており、八年生（日本の中学二年）になると試験をして、本人の能力と成績に応じて、数学、語学、体育、音楽の専門中学校へと分類していくとのことである。

また十年生の卒業時にさらに試験を実施し、合格すると二年間大学予備校へと進学するシステムになっており、この二年間の内に現場の工場等で実習をしていくとのことである。

この国も、同じ共産圏のソ連や中国同様にエリート中心教育になつており、オリンピックなどで陸上や体操が非常に強い理由が理解できた。

その他科学の方でも英才教育が積極的に取り入れられており、共産圏のこの勢いに追い抜かれ、日本の教育はこれで大丈夫だろうかと思ふと一抹の不安を抱かせた。

今後我々もこの共産諸国の教育を、大いに研究すべきだと思ふ。

ペルモガモン博物館

帰りにブランテンブルグ凱旋門を車中より見学、青銅の馬車に乗った勝利の女神像がベルリン市街を見下ろしており、平和のシンボルとなっていた。門の背後には東西ベルリンの壁、国境守備隊の衛兵の姿が見られた。

次の見学地ペルモガモン博物館へと移動した。この建物は一九〇九年から三十年をかけて建てられたもので、古代の建築様式のコレクションなどの重要な展示品があり、驚くほど大きい有名な彫刻像もみられました。

二日間にわたり我々を案内してくれたガイドと別れを告げ、三十

分くらいで西ベルリンの国境線に到着した。検問は非常に厳しく、カメラ類は一切カバンの中へ入れるようにとの注意があった。またバスの下側は、鏡の付いた器具で検査をしていた。

緊張する国境線

東西の国境線は、四メートルほどのコンクリート壁で仕切っており、刑務所と同じである。電流の通ったバリケードも張られ、境は五〜六メートルの道路一本で、東西の建物は声をかければ話のできるほど近い距離にあった。

我々の乗ったバスは東ドイツのもので、運転士も東ドイツ人であったが、そのまま西ドイツに乗り入れられるように、双方で協定が交されており、東ドイツでは独身者は逃亡される恐れがあるので、運転士は必ず妻子のある者でなければ許可しないとのことである。

同じドイツ人でありながら、東と西に別れた民族は、朝鮮と韓国、台湾と中国と、世界にもいくつかの同じ運命を背負った国が存在するが、悲劇である。

我々の日本は敗戦はしたが、国が別々にならなかっただけ幸福だったと感じた。



社会福祉へ百万円

上町の江嶋恒夫さん

「親の代から、この町には大変にお世話になってます。その恩返しというほどではありませんが、恵まれない方々のために、少しでもお役に立てばと思ひまして...」

上町の江嶋恒夫さんから、このほど町へ、百万円の寄付がありました。

この江嶋さん、昭和五十三年にも多額の寄付をされています。横芝小学校長を最後に教育界から勇退された江嶋さんは、退職後も望まれて地区の役職に就くなど地域社会のために大きな貢献をされています。

この江嶋さん、昭和五十三年にも多額の寄付をされています。横芝小学校長を最後に教育界から勇退された江嶋さんは、退職後も望まれて地区の役職に就くなど地域社会のために大きな貢献をされています。

この江嶋さん、昭和五十三年にも多額の寄付をされています。横芝小学校長を最後に教育界から勇退された江嶋さんは、退職後も望まれて地区の役職に就くなど地域社会のために大きな貢献をされています。

表彰

体育指導委員

越川浩一さん

町の体育指導委員として活躍されている越川浩一さん(東町)が、その功績を買われ、十二月五日に県体育指導委員連合会から表彰をうけました。

優良調理場

学校給食センター

千葉県統計大会が十一月三十日に行われ、席上、町統計研究会(伊藤裕之会長)と、長年にわたり農林統計調査員として活躍された方

★千葉県年金福祉協会
社会福祉事業資金として町へ六万円を寄付

★総武中央ライオンズクラブ
屋外ポール型大時計(町民広場へ設置)一基と、町内の小学校へそれぞれ十萬円の図書券を寄付

◎善意によるたぐさんの寄付ありがとうございました。福祉のため、子どもたちのため、町民のためにと有効に使わせていただきます。

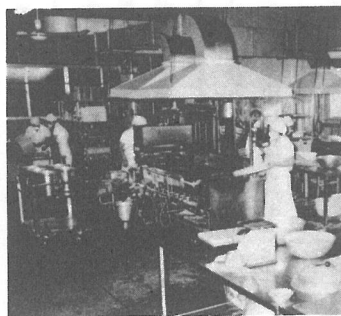
昭和四十一年に設置された学校給食センターでは、現在小・中学校、保育所を対象に、週五日の完全給食を実施して、児童生徒の健康と体力増進に努めています。十二月三日、県教育委員会から優良調理場として表彰をうけました。

県統計大会で

海保さんらに

- ★千葉県知事表彰
横芝町統計研究会
海保武夫(立会)
- ★千葉県知事感謝状
高橋一郎(鳥喰新田)
- ★千葉県統計協会会長表彰
伊藤 仁(中台)

給食センターで働く調理員



俳壇



冬雨や石路の葉鏡暗く照り
成田 榛子
毛糸編み思ひ出しては背を正し
宇井 芝童
鈍豆に色ある零冬の雨
藤代 ゆう

寄鍋に話がはずむ国訛り
大川 嶺歩
豆を煮る匂ひこぼれて冬の雨
若梅あやめ
老ひらくの相々傘や冬の雨
津田 若菜
寒椿例年の道に咲き初めぬ
海保恵保子
冬の雨知恵子の詩碑も我もぬれ
海保 きみ
姿見に写すわが舞ひ冬の雨
鈴木 南知

寄鍋に思ひの遠き父のこと
秋葉 万治
外濠の水の明暗冬の雨
石毛 石亭
夕凍むや心に瀬音あつめりて
高品 虎洞
行商女まだ荷の重く冬の雨
五木田烟花
冬の傘を持つ手のかじかみて
木下石果子
冬雨や三差路にくるまやりすこし
向後 雅子

代表横芝 運転技術NO.1に?

県トラクター競技会

トラクターの運転技術の向上と農作業の安全を目的に、乗用トラクター技能交換大会が県農業機械化研修所(千葉市)で、県内から八十名余りが参加して行われ、当町から出場した鈴木普一さん、怒賀正さん(ともに中台)チームが団体の部で見事に優勝、特別賞も



人、人、入でにぎわう農業祭

多彩な催し 農業祭

九回目を迎えた町の農業祭が、町と農業振興会(橘川隆会長)の主催で開かれ、大勢の人出でにぎわいました。例年どおり各種共進会や即売会を中心に楽しい年納めとなりましたが、優れた実績を残した次の方に対して特別賞が贈られました。

- ★農業賞
鈴木一郎(中台)
- ★農業功労賞
越川武彦(鳥喰沼)
- 伊藤金光(中台)

4億2076万円

会計決算

歳入 22億5324万9千円

町税負担額

1人あたり 43,312円

1世帯あたり 165,016円

一般会計

昭和56年度の一般会計と国民健康保険特別会計の決算が12月定例町議会で認定されました。

一般会計の歳入は、22億5324万9千円で前年度に比べ4.4%減り、歳出も21億1005万5千円で前年度より7.2%減って差し引き1億4319万4千円が57年度へ繰り越されました。

また、国民健康保険特別会計の歳入は5億7308万3千円で前年度より18.8%多く、歳出も5億6379万8千円で前年度に比べ17.8%増えて、差し引き928万5千円が57年度へ繰り越されました。

56年度中に行われた主な建設事業

- 県営排水対策特別事業 (西・取立) 1462万円
- 土砂崩壊防止工事 (姥山・長倉) 2030万円
- 農村総合整備モデル事業 2951万円
- 町道新設改良事業 1億592万2千円
- 町道維持補修事業 5095万7千円
- 海洋センター付帯設備工事 2441万5千円
- 共同利用施設建設事業 5651万1千円

● その他	3億4,613万7千円
● 県支出金	1億2,799万7千円
● 国庫支出金	1億7,683万1千円
● 諸収入	2億1,877万8千円
● 町税	6億1,913万9千円
● 地方交付税	7億6,436万7千円

このシリーズ二七(昨年十月)で、長倉の十二社様を紹介したとき、「白山様の祠は行方不明になつており、現在は十一基だけである」とおしらせしましたが、その時にいろいろとご指導いただいた吉川義男さんから「白山様が現れました……」と連絡をいただき、早速出かけてみました。

昨年取材に来た時に、随分探してなかつたはずの人面を刻んだ一体の石像(白山様)が、「俺を忘れたのか」といいたげに、こちらをにらんでいたのです。

吉川さんによると「不思議ですね。私が十歳ぐらいまでは確かに建っていました。正月と十月の産土神様のお祭りに出かけ、白山様の異様な人面が怖くて、走る様にして通り抜けた事を覚えていませんから。祖父母から聞いた話では、この面相は天狗様で、齒を丈夫にする神様として部落ではもとより、他町村から泊りがけで日参する人も多かったということです。医療

横芝の碑 めでたくそろつた 長倉の十二社様

(二二〇)

機関も整わなかつたころのことですから。

私も、齒の痛み止めの膏薬を顔に貼った人が、白山様にお詣りしている姿を見かけたことがありません。その後、誰も気が付かなくなつたのです。それから五十年、毎年草刈りも行われているのですから、わからないなんてことはないと思ふんですが、それが十月のお祭りの時に神社関係者の方々と十二社様の話をしながら眺めていると、近くの草群がかすんでいるように見え、少し小高く感じました。近づいてかき分けてみると、なんと、五十年來姿をかき分けておられた白山様が現れたのです。この時の驚きようといつたら……。とにかく、めでたく十二社様がそろつたのですから、これからは大切に仕守りしましょう」と話し合つたということです。

ちなみに白山様は、石川県と岐阜県の境にそびえる白山火山帯の主峰に、白比咩(しらやまひめ)

50年目 思わぬ出現に…ア然

歳入 5億7308万3千円

保険税負担額

1人あたり 22,988円

1世帯あたり 74,743円

国民健康保険税 1億9829万2千円

国庫支出金 3億3118万9千円

繰入金 2500万円

繰越金 375万9千円

その他 1484万3千円

その他 883万2千円

総務費 2273万円

保険給付費

5億3223万6千円

歳出 5億6379万8千円

支出額

1人あたり 65,360円

1世帯あたり 212,513円

建設事業に

昭和56年度

歳出 21億1005万5千円

支出額

1人あたり 147,608円

1世帯あたり 562,381円

**国民健康保険
特別会計**

● 人件費 5億6678万1千円

● 普通建設事業費 4億2076万円

● 補助費等 3億9063万円

● 物件費 2億8167万9千円

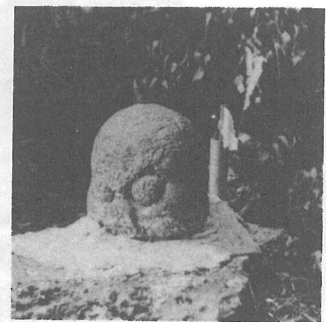
● 扶助費 1億4890万9千円

● 公債費 1億4059万円

● その他 1億6070万6千円

身体に重度の障害のある方

不在者投票は郵便で！



命を祭神として祭られ、養老元年（七一七）僧泰澄によって創設されたと物の本に記されています。写真は、ギョロリとした面相が今にもしゃべり出しそうにみえ、辺りに異様な雰囲気を作り出している白山様の石像です。

横芝町文化財審議会委員
小沢春光さん寄稿

身体に重度の障害があつて、投票所へ行って投票することができない方、郵便による不在者投票制度があるのをご存じですか？

この制度は、身体障害者手帳または、戦傷病者手帳の交付をうけている方で、選挙の当日にみずから投票所に行くことのできない有権者が、前もって郵便により行う投票のことで、手帳に次のように記載されている方が対象となります。

◎身体障害者手帳の交付をうけている方

- ・両下肢または体幹に障害があつて、一級あるいは二級と記載されている方
- ・心臓、じん臓もしくは呼吸器に障害があつて一級あるいは三級と記載されている方
- ・両下肢などの障害の程度が前記二項と同程度であると県知

事が認められた方
◎戦傷病者手帳の交付をうけている方

- ・両下肢または体幹に障害があつて、特別項症から第二項症までの方
- ・心臓、じん臓もしくは呼吸器に障害があつて特別項症から第三項症までの方

該当すると思われる方は、町選挙管理委員会で郵便投票証明書の交付手続きをしてください。また昭和五十四年に郵便投票証明書の交付をうけた方は、まもなく四年間の有効期限が切れますので、新たに交付手続きをしてください。今年度は、県議会議員、町議会議員、町長、参議院議員の選挙が次に執行される予定です。棄権せずにあなたの一票を政治に活かしましょう。

選挙管理委員会 二一一一一

恵まれた環境で健かな成長

入所受付 二月二日から

保育所の入所申請の受け付けを

二月二日から行いますので、四月から入所を希望する児童の保護者は、次の入所基準に注意して手続きをしてください。(現在入所中で四月以降も引き続き保育を希望する場合も手続きが必要です)

入所基準

- 児童の母親が、昼間家庭外で仕事をしている場合
- 児童の母親が、昼間家庭で児童と離れて家事以外の仕事をしている場合
- 死亡、行方不明などで母親のいない家庭の場合
- 母親が出産前後や病気のため児童の保育ができない場合

入所申請の受付日時・場所

保育所名	期日	時間	場所
横芝第一保育所	2月2日(木)	9:00~12:00	役場
横芝第二保育所	2月2日(木)	13:00~16:00	役場
フタバ保育園	2月3日(木)	9:00~12:00	役場
大総保育所	2月3日(木)	13:30~16:00	大総会館
上堺保育所	2月4日(金)	13:30~16:00	上堺会館

○児童の家庭に長期にわたる病人

や心身に障害のある人がいるため、母親がいつもその看護にあたっていて児童の保育ができない場合。

☆ただし、いずれの場合でもその家庭内に母親以外の人がいて、児童の保育ができる場合は除かれます。

申請用紙は、役場福祉保健課または、各保育所に用意してあります。

くわしいお問い合わせは、福祉保健課(二一—二一)までどうぞ。

二十歳になったら……

国民年金との出合い

二十歳になると、成人として多くの権利と義務が生まれますが、国民年金への加入もその一つです。

厚生年金や共済組合などの公的年金に加入していない、二十歳から六十歳未満の日本国民で、国内に住所がある人は国民年金に加入しなければなりません。

保険料は、月額五千二百二十円で、老齢年金のほか、加入中に障害者になった時などには障害年金も受けられます。

加入の手続きは、印カンを持参して役場住民課でおこなってください。

ねたきり老人

介護教室

ねたきり老人のいる家庭の介護

保健婦の健康アドバイス

お年寄りにとって、寒い冬はつらい時期です。脳卒中、心臓病など成人病の発作が起きやすく、カゼから肺炎を起こすこともあります。ちよつとしたからだの変調でも無理は禁物です。また、年をとると寝つきが悪くなるのですが、寒い夜は特に眠れないでしょう。頭寒足熱

冬のお年寄り

が安眠の条件ですから、湯たんぼやアンカで足を暖めるとよく眠れます。夜中にトイレに立ったために眠れなくなったり、脳卒中の発作を越したりする事もあります。寝室にシビンを用意したり暖房を工夫しましょう。昼間の暖房も、ストーブだと足元が冷えがちになります。コタツや足温器を併用し、足元の暖房に気をつけましょう。

税の共同説明会

五十七年分の確定申告について、所得税、事業税、住民税の共同説明会が、二月八日の午後一時半から四時まで中央公民館で開催されます。

新春経済講演会

山香芳昭さん(元NHK報導局経済部副部長)を招いて、一月十七日の午後一時から三時まで、商会館二階ホールで新春経済講演会が開催されます。聴講は無料です。

建設のあゆみ

(着工)

- 道路舗装補修工事
 - 町道姥山区内線……………124m
- 道路舗装新設工事
 - 町道西区内線(二本)……………382m
 - 町道南部区内線……………176m
 - 町道三島区内線……………264m
 - 町道鳥喰上区内線……………184m
- 道路改良工事
 - 町道曾根合区内線……………315m
 - 町道中台区内線……………600m
 - 町道於幾区内線……………368m
 - 町道東区内線……………533m
- 道路排水整備工事
 - 町道西区内線……………103m
- 駐車場増設工事
 - 役場わき……………275m²

(完成)

- 道路舗装補修工事
 - 町道屋形1号線……………300m
 - 町道新島2号線……………233m
- 道路舗装新設工事
 - 町道栗山区内線……………324m
- 集会所新築工事(谷台)
 - 木造平家……………88m²